

2000年 春号

WVA!

VOL. 2

 L'Hopital KYOWA



桜クリニックのすぐ西を流れる山崎川は、名古屋でも有数の桜の名所です。

幸せと喜びの感覚

私たちは自分の知識や経験を使って患者様を治療し看護しているのですが、意外に患者様から教えられることも多いものです。最近私は「幸せ」とか「喜び」を感じる事が人間の生きていく上でどんなに大切か、あらためて考えさせられています。

たとえば、私たちのクリニックにいらっしゃる中年の軽症うつ病の方の中には、お薬が効いて外からみればとても元気になっているのに、こころのなかに幸せや喜びの感じが湧いてこないのが苦しんでいる人が結構おられます。これがないと、仕事への意欲がいま一つ出てこないのです。

そういう悩みを聞くたびに私は、今お元気な方も自分が今おもちのささやかな「喜び」「生きがい」の感覚を取り逃さないように大事に暖めてほしい、と思うのです。飽食と暖衣と余暇をすでに手に入れた現代の日本人にとっても、幸せ、

喜び、生きがいの感覚だけは簡単に手に入らないからです。

ひるがえって、われわれの携わる医療という仕事を考えると、さいわい、すぐそこにいる「人の幸せ」のためにすることが、そのまま「自分の喜び」につながり、ときには直接感謝の言葉を聞けるといって有り難さをもっています。それを「生きがい」にして、これからも毎日丁寧に仕事をしていこうと思っています。



桜クリニック院長
笠原 嘉



NEW WIND FROM OBU

西暦2000年という新たな時代への節目を迎え、大府市を舞台に地域精神保健福祉活動が益々盛んになってきました。

健康都市づくりを目指す大府市は心の健康についても市民の関心も高く、社会福祉協議会の精神保健福祉ボランティア講座も毎年大盛況です。そして、ボランティア団体「ひまわり」や地域家族会「かざぐるま」が既に活動しています。

そこに新しく4月、社会福祉法人「憩の郷」が2つの社会復帰施設をオープンいたします。

今回は、通所授産施設「ワーキングスペース おおぶ」施設長の篠原さん、「地域生活支援センター キャンパス」のソーシャルワーカー高山さんにお話を伺いました。

*

精神障害者社会復帰施設ということですが、どんな施設ですか

*

今回私共は、大府市森岡町蛇ヶ寝に鉄骨2階建ての精神障害者社会復帰施設を開所いたしました。1階は通所授産施設「ワーキングスペース おおぶ」、2階は「地域生活支援センター キャンパス」という2つの機能が併設されています。

*

それぞれどんな施設なのですか

*

「ワーキングスペース おおぶ」は、地域で暮らし、働く意欲を持ちながらも就職することが困難な精神障害者の方たちのための社会復帰施設です。就労訓練の場として、また社会参加や常勤雇用の足がかりの場としてご利用いただき、さらに仲間同士が集い、語り合う場とし

て活用していただきたいと思えます。

施設は、作業所、クリーニングで使用する洗濯室・仕上げ室があり、作業内容はタオルクリーニング、アスパ作り等を中心に活動をしていきます。



「地域生活支援センター キャンパス」は、地域で生活する精神障害を持つ方たちの日常生活の支援、相談への対応や地域交流活動を行うことを通じて、障害を持つ人たちの社会復帰と自立、社会参加を進めていくことを目的としています。

施設は、地域交流室、ミーティング室、食堂を有し、コーヒーサービスやランチサービスのご利用もしていただけます。

地域で安心して暮らせるように様々な工夫を凝らし、支援体制を築きたいと準備を進めています。また、地域における心のバリアフリーの推進を図りたいと思っています。

*

最後に、施設開所にあたって抱負をお聞かせ下さい

*

「憩の郷」は、自立、社会参加に向けて共に歩み、共に育ちあいそれぞれの夢や思いを実現するところでありたいと思います。利用される方がゆったりとして安心できるように職員一同頑張っております。さらに、利用者のみならず地域の皆さんとの交流の場としても発展

させていきたいと考えています。

*

ありがとうございました

*

精神障害者の方々のリハビリテーションがもっとよくなっていくためには、地域の中での支援体制がきめ細かく作られることだと思います。また、施設を支えてくださる人のつながりを大切にして地域の皆さんから期待され、知多半島から爽風を巻き起こしていけるように、私達一人ひとりが応援し見守っていきたく思います。

施設のご利用を希望される方は、パンフレット・利用の手引き等も用意してあると云うことでしたので、直接施設の方へお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

憩の郷

いこいのさと

愛知県大府市森岡町蛇ヶ寝5番地の11

通所授産施設

**「ワーキングスペース
おおぶ」**

TEL 0562-45-5575
FAX 0562-44-9898

**「地域生活支援センター
キャンパス」**

TEL 0562-45-5585
FAX 0562-44-9898



私の趣味は走ること?



パートⅡ

ハーレー歴4年目に入り月1回のクラブツーリングを楽しんでいます。昨年夏には九州にも行きました。オートバイは平成元年の登録ですが、15,000Kmの走行で車体はピカピカです。型はウルトラクラシック系で1345cc、460kgの重量があり無線を付け、制服も夏用・冬用と揃え、若者がまたがるイージーライダー系とは一線を画しています。

クラブメンバー15名の平均年齢は50才代後半で最高齢者は66才です。メンバーは人に見られ



ることが大好きな人達で、女性には手を振ったりしてけっこう楽しんでいます。

春と秋の交通安全週間には、品川や池上など地元の警察署よりハーレーによる交通安全パレードの要請があり、ボランティアとして参加しています。

近い将来、高速道路での大型バイクのタンデム(2人乗り)が規制緩和により実現すれば、若い女性とのタンデムなど新しい企画のツーリングができ、今から楽しみにしています。

最後に、私の業務分野は医業経営のコンサルティングですが、これからは介護・福祉分野まで広げたいと考え、今年2月に「ホームヘルパー2級」を取得しました。先日は特別養護老人ホームに3日間の実習を体験しましたが、ボランティアの大切さを肌で感じました。できれば、共和会職員全員が「ホームヘルパー2級」程度の技術を習得されるようお願いしたいものです。

顧問 金井 一臣

子育て ノウハウ

～対人関係の基礎を創る～

結婚した殆ど多くの夫婦は、子どもが生まれるのを待ち望んでいます。妊娠した女性は、育児書を読み、産着や靴下おしめなど用意し、まだ見ない我が子に思いをはせています。この様な妊娠早期から既に母子の関わりが始まっているのです。この時期に嫁姑・夫婦・経済などの問題を抱えストレス状態に置かれることは、おなかの赤ちゃんに影響を及ぼします。一般に言う胎教でしょうか。現代では、若い夫婦は親と同居せず核家族で暮らしており、妊娠中も赤ちゃんが産まれてからも、母親の負担が増えます。なるべく心配や悩みを抱え込まないように、夫や家族、先輩または保健婦さんなどに相談しストレスをため込まないことが大切でしょう。

いよいよ赤ちゃんが生まれ母親として対面します。すでにお母さん達は、生まれる前から病院や保健センターの母親教室で赤ちゃんの泣き声を聞き、泣き声によって、おなかがすいているとか、甘えているとか、おしっこが出たとか学んでいます。実際は我が子の泣き声をくみ取って反応しなければなりません。その反応を赤ちゃんが受け取り、その時々意味付けをします。例えば、おむつが濡れたときに泣くとお母さんは「おしっこでたのね、おしめ替えましょう」「ああ、さっぱりしたねー」と優しい笑顔で、にこやかに対応すれば、赤ちゃんは新しい事に対して取り組もうとします。また、甘えて抱っこしてほしくて泣くたびに抱っこすると、抱き癖が付いてしまったり、母親自身の感情に流されて怒ったり、悲しみの表情で対応すると赤ちゃんは不安になり、新しいことに取り組むのはやめてしまう。というように、これらのやりとりを通し、お母さんとの間に情緒の交流が生まれ、対人関係の基礎が出来るのです。

大切なのは子どものサインに対して、子どもの成長を考えての母親からのサインを送ることなのです。

院長 榎本 和

生活習慣病

「生活習慣病」という言葉も耳慣れてきておりそれこそ生活の中にもその概念が定着しつつあります。高血圧や動脈硬化、がん、脳卒中、心臓病、糖尿病など、いわゆる「成人病」と呼ばれていた病気は、その多くが生活習慣と深い関わりがあります。そこで近年、これらの病気を「生活習慣病」と呼び改めるようになったわけです。

生活習慣病という概念は、国民一人ひとりが生活習慣を改善することによって、病気の発症や進行を予防することが出来るという認識を高め、生活習慣の改善を積極的に実行し健康な生活を送るということを含んでいます。

生活習慣病にかかわる原因として、環境因子とか遺伝因子など複数の要因が複雑に関与しています。しかしそのいろいろな要因の中で最もかかわりが深いのが生活習慣そのものなのです。

では、どのような生活習慣がどのような病気とかかわってくるのかを簡単にまとめましょう。

高塩分食.....塩分の摂り過ぎは高血圧や動脈硬化を促進し、脳梗塞や狭心症、心筋梗塞などの危険性を高めます。

過食・高脂肪食.....食べ過ぎや脂肪分の多い食事は肥満を招きます。肥満は高

血圧、糖尿病などあらゆる生活習慣の要因となり、脂肪分の摂り過ぎは高脂血症につながります。

ストレス.....過度のストレスは高血圧や心筋梗塞などを招きやすくすることが明らかになっています。また最近ではストレスが免疫を低下させ、がんの発症率を高めているともいわれています。

喫煙.....喫煙は肺がんなどがんを発症させる大きな要因となります。また喫煙は動脈硬化を促進し、心筋梗塞の発症を高めることもはっきりしています。

多量飲酒.....アルコールの飲み過ぎは肝臓病の悪化を招きます。また、膵臓にも負担をかけ、慢性膵炎や糖尿病の悪化も招きます。さらに痛風とも関係しています。

さて皆さんはどうでしょうか。一つひとつチェックしてみてください。少なからず心当たりのある人がほとんどではないでしょうか？まずはできることから改善してみませんか！



共和会理念・基本方針

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは！
患者様に安心と満足を提供する医療
良質且つ効率的な医療の提供
患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは！
毎日の出勤が楽しくなる職場
職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
職員の満足が患者様へ反映される職場

編集後記

待ちに待った春がやってきて、心がうきうきするのは私だけでしょうか？小さな草花が懸命に咲こうとする姿は何とも言えぬ感動を覚えます。

広報誌「Wa!」も無事にVol.2を発刊することができました。新年号(Vol.1)の際は、皆様から「なかなか綺麗な紙面だね!」と、おおむね好評を頂いたと自負しております。さて、春号はいかがでしょうか？

なにしろ、広報誌作りは、全く始めての私たち編集委員です。委員会の中は、Wa!の名の如く、Waイワイ、Waハハハ楽しくさせていただいています。今後は、そんな雰囲気も伝わるような紙面作りができればいいなと思っています。

まだまだ未熟な広報紙面(委員会の体格は超成熟児?ですが)です。今後とも、ご意見・ご指導を頂ければと思っております。



医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

俳句コーナ

菜の花の
遙かに黄なり
筑後川
漱石

明治二十九年三月松山中学を辞め熊本第五高等学校の講師となり、その年の六月に結婚し二応落ち着いた翌年の早春の句であると思えます。

「遙かに」が菜の花の美しさを強調し、又「遙かに」が広大な筑後川の流域の眺めを表しています。

菜の花の
黄なり
筑後川

年	月	病歴
明治十七年	九月頃	天然痘
明治十七年	七月	虫垂炎
明治十九年	七月	腹膜炎
明治二十年		急性トランプム
明治二十七年		肺結核疑
明治三十年		抑うつ症発病
明治三十五年	九月	強度の抑うつ
明治三十六年	七月	抑うつ状態
明治三十七年	九月	胃潰瘍
明治三十八年	八月	胃潰瘍(八月吐血)
明治三十九年	六月	胃潰瘍再発
明治四十年	九月	胃潰瘍再発
明治四十二年	九月	痔疾の手術
明治四十五年	九月	痔疾再手術
大正二年	六月	抑うつ状態
大正三年	九月	胃潰瘍再発
大正五年	十月	糖尿病
大正五年	十月	大吐血 永眠

名譽院長 加藤 邦之助